

## 88. 就業構造 (第3次産業)

時点 平成2年10月1日

単位 %

偏差値 63.6

順位	都道府県名	数	値	順位	都道府県名	数	値
—	全 国		59.0	24	佐 賀		55.4
1	沖 縄		70.7	25	青 森		55.3
2	東 京		69.8	26	愛 媛		55.1
3	福 岡		66.5	27	岡 山		54.4
4	北 海 道		65.4	28	愛 知		54.1
5	◎千 葉		64.0	29	徳 島		53.9
6	神 奈 川		63.3	30	徳 島		53.0
7	大 阪		62.3	31	島 根		52.9
8	京 都		61.8	32	三 重		52.8
8	奈 良		61.8	33	富 山		52.5
10	長 崎		61.5	34	静 岡		52.4
11	兵 庫		61.1	35	新 潟		52.3
12	宮 城		60.1	36	新 福 井		52.0
13	高 知		59.7	37	山 梨		51.9
14	高 崎		59.3	38	滋 賀		51.5
15	広 島		58.9	39	茨 城		51.4
16	山 口		58.5	40	岐 阜		50.9
16	大 分		58.5	41	秋 田		50.8
18	石 川		58.4	42	岩 手		50.1
19	香 川		58.0	42	群 馬		50.1
20	和 歌 山		57.9	44	栃 木		50.0
21	熊 本		57.0	45	福 島		49.0
21	鹿 児 島		57.0	46	福 山		48.2
23	宮 崎		55.5	47	長 野		47.6

  

摘 要	・資料 総務庁統計局「平成2年国勢調査」
	・第3次産業就業者数を就業者総数で割ったもの。
	・第3次産業は、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、金融・保険業、不動産業、サービス業、公務の合計。